

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券		
信 託 期 間	無期限		
運 用 方 針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	1. ダイワ外国債券先進国マザーファンドの受益証券 2. ダイワ外国債券新興国マザーファンドの受益証券	
	ダイワ外国債券先進国マザーファンド	海外の債券	
	ダイワ外国債券新興国マザーファンド		
ベビーファンドの運用方法	①主としてマザーファンドの受益証券を通じて、海外の債券に分散投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②各マザーファンドの受益証券の組入比率は、信託財産の純資産総額の50％を中心に、40％程度から60％程度の範囲内とします。組入比率の合計は、通常の状態での信託財産の純資産総額の90％程度以上に維持することを基本とします。 ③各国の債券および為替市場の流動性、信用力、市場規模、金利水準等を勘案し、長期的な視点で先進国通貨および新興国通貨の中からそれぞれ3通貨を選定し、基準となる通貨の配分（以下「基本通貨配分」といいます。）を定めます。実際の運用にあたっては、基本通貨配分に基づき、金利動向等の状況を考慮して通貨を配分します。 ※投資環境等が著しく変化した場合には、投資対象通貨、通貨数および基本通貨配分を変更する場合があります。 ④投資対象は、各国の国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関およびそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証する債券とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。		
組 入 制 限	ダイワ外国債券先進国マザーファンドの株式組入上限比率 ダイワ外国債券新興国マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10％以下	
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。		

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ外国債券ファンド （毎月分配型） ーダイワスピリットー

運用報告書（全体版）

第78期	（決算日	2015年 9 月10日）
第79期	（決算日	2015年10月13日）
第80期	（決算日	2015年11月10日）
第81期	（決算日	2015年12月10日）
第82期	（決算日	2016年 1 月12日）
第83期	（決算日	2016年 2 月10日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ外国債券ファンド（毎月分配型）ーダイワスピリットー」は、このたび、第83期の決算を行ないました。

ここに、第78期～第83期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)		JPMorgan GBI-EM グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率	純資産 総 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%		%	%	%	百万円
54期末(2013年9月10日)	8,081	50	1.3	12,587	1.8	16,564	△ 1.2	95.6	—	89,015
55期末(2013年10月10日)	8,092	50	0.8	12,577	△ 0.1	16,923	2.2	94.2	—	87,989
56期末(2013年11月11日)	7,956	50	△ 1.1	12,796	1.7	16,904	△ 0.1	91.5	—	85,325
57期末(2013年12月10日)	8,112	50	2.6	13,496	5.5	17,642	4.4	93.5	—	85,783
58期末(2014年1月10日)	7,967	50	△ 1.2	13,643	1.1	17,510	△ 0.7	93.8	—	83,126
59期末(2014年2月10日)	7,718	50	△ 2.5	13,513	△ 1.0	16,833	△ 3.9	95.2	—	79,854
60期末(2014年3月10日)	7,830	50	2.1	13,829	2.3	17,304	2.8	95.1	—	80,230
61期末(2014年4月10日)	8,092	50	4.0	13,731	△ 0.7	17,760	2.6	96.7	—	82,164
62期末(2014年5月12日)	8,114	50	0.9	13,804	0.5	17,980	1.2	94.3	—	81,633
63期末(2014年6月10日)	8,152	50	1.1	13,934	0.9	18,338	2.0	95.9	—	81,206
64期末(2014年7月10日)	8,113	50	0.1	13,925	△ 0.1	18,284	△ 0.3	96.4	—	80,232
65期末(2014年8月11日)	7,995	50	△ 0.8	13,943	0.1	17,944	△ 1.9	97.5	—	78,571
66期末(2014年9月10日)	8,225	50	3.5	14,301	2.6	18,613	3.7	96.1	—	79,773
67期末(2014年10月10日)	8,070	50	△ 1.3	14,547	1.7	18,521	△ 0.5	95.4	△ 3.0	77,722
68期末(2014年11月10日)	8,295	50	3.4	15,302	5.2	19,215	3.8	90.6	△ 3.4	79,383
69期末(2014年12月10日)	8,561	50	3.8	15,994	4.5	19,509	1.5	96.6	△ 13.6	80,673
70期末(2015年1月13日)	8,426	50	△ 1.0	15,792	△ 1.3	18,854	△ 3.4	96.6	△ 19.9	79,056
71期末(2015年2月10日)	8,090	50	△ 3.4	15,590	△ 1.3	18,834	△ 0.1	92.3	—	75,364
72期末(2015年3月10日)	7,757	50	△ 3.5	15,549	△ 0.3	18,370	△ 2.5	93.9	△ 13.5	71,801
73期末(2015年4月10日)	7,849	50	1.8	15,526	△ 0.1	18,913	3.0	95.9	△ 11.5	71,227
74期末(2015年5月11日)	7,722	50	△ 1.0	15,586	0.4	18,785	△ 0.7	93.0	△ 6.3	69,764
75期末(2015年6月10日)	7,727	50	0.7	15,837	1.6	18,746	△ 0.2	95.2	△ 8.3	69,153
76期末(2015年7月10日)	7,455	50	△ 2.9	15,445	△ 2.5	18,249	△ 2.6	92.0	△ 2.3	66,560
77期末(2015年8月10日)	7,351	50	△ 0.7	15,927	3.1	18,040	△ 1.1	94.1	△ 4.6	65,216
78期末(2015年9月10日)	6,650	50	△ 8.9	15,570	△ 2.2	16,401	△ 9.1	92.1	△ 5.7	57,868
79期末(2015年10月13日)	6,787	50	2.8	15,698	0.8	17,296	5.5	91.9	△ 9.1	58,625
80期末(2015年11月10日)	6,742	50	0.1	15,538	△ 1.0	17,171	△ 0.7	93.6	—	57,708
81期末(2015年12月10日)	6,674	50	△ 0.3	15,683	0.9	16,793	△ 2.2	94.1	△ 4.6	56,473
82期末(2016年1月12日)	6,082	50	△ 8.1	14,948	△ 4.7	15,571	△ 7.3	93.5	△ 9.9	50,874
83期末(2016年2月10日)	6,093	50	1.0	15,179	1.5	15,706	0.9	93.8	△ 10.0	50,369

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）の原データに基づき、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注3) JPMorgan GBI-EMグローバル ダイバーシファイド（円換算）は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマーシング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

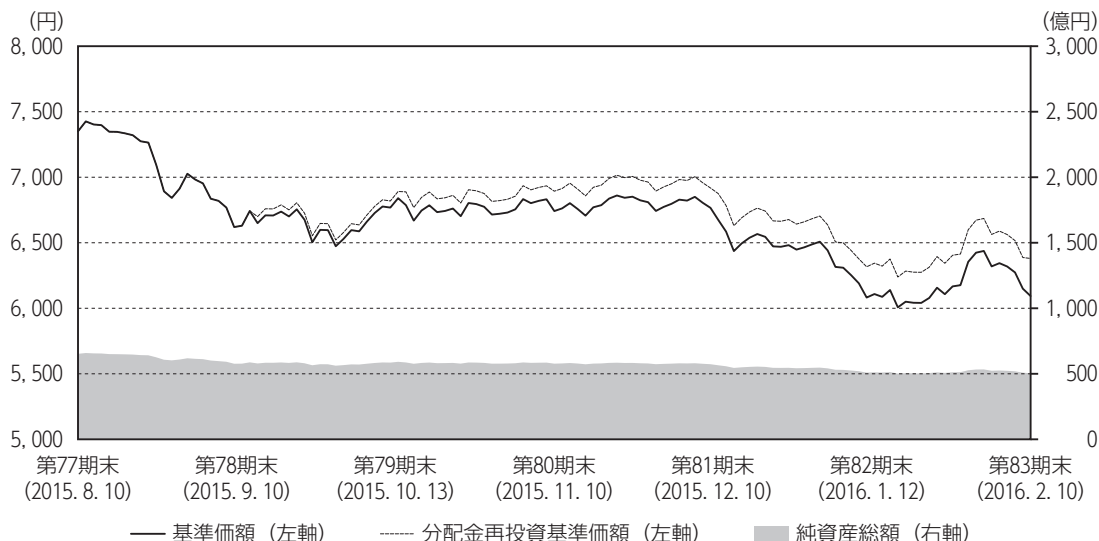
(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第78期首：7,351円

第83期末：6,093円（既払分配金300円）

騰 落 率：△13.2%（分配金再投資ベース）

■組入ファンドの当作成期間中の騰落率

組入ファンド	騰落率
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	△9.3%
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	△17.4%

■基準価額の主な変動要因

各マザーファンドの受益証券を通じて、先進国および新興国の債券に投資した結果、為替相場が下落したことや新興国の債券価格が下落したことが要因となり、基準価額は下落しました。一方、債券の利息収入は安定的に基準価額の上昇要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ外国債券ファンド（毎月分配型）－ダイワスピリット－

	年 月 日	基 準 価 額		シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)		JPMorgan GBI-EM グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率
		円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %		
第78期	(期首) 2015年 8月10日	7,351	—	15,927	—	18,040	—	94.1	△ 4.6
	8月末	6,983	△ 5.0	15,593	△ 2.1	17,000	△ 5.8	94.0	—
	(期末) 2015年 9月10日	6,700	△ 8.9	15,570	△ 2.2	16,401	△ 9.1	92.1	△ 5.7
第79期	(期首) 2015年 9月10日	6,650	—	15,570	—	16,401	—	92.1	△ 5.7
	9月末	6,530	△ 1.8	15,549	△ 0.1	16,080	△ 2.0	91.6	—
	(期末) 2015年10月13日	6,837	2.8	15,698	0.8	17,296	5.5	91.9	△ 9.1
第80期	(期首) 2015年10月13日	6,787	—	15,698	—	17,296	—	91.9	△ 9.1
	10月末	6,731	△ 0.8	15,597	△ 0.6	17,016	△ 1.6	92.3	△ 3.9
	(期末) 2015年11月10日	6,792	0.1	15,538	△ 1.0	17,171	△ 0.7	93.6	—
第81期	(期首) 2015年11月10日	6,742	—	15,538	—	17,171	—	93.6	—
	11月末	6,743	0.0	15,590	0.3	17,135	△ 0.2	93.4	△ 4.5
	(期末) 2015年12月10日	6,724	△ 0.3	15,683	0.9	16,793	△ 2.2	94.1	△ 4.6
第82期	(期首) 2015年12月10日	6,674	—	15,683	—	16,793	—	94.1	△ 4.6
	12月末	6,508	△ 2.5	15,330	△ 2.3	16,489	△ 1.8	93.6	△ 8.5
	(期末) 2016年 1月12日	6,132	△ 8.1	14,948	△ 4.7	15,571	△ 7.3	93.5	△ 9.9
第83期	(期首) 2016年 1月12日	6,082	—	14,948	—	15,571	—	93.5	△ 9.9
	1月末	6,354	4.5	15,329	2.6	16,236	4.3	94.2	△ 13.9
	(期末) 2016年 2月10日	6,143	1.0	15,179	1.5	15,706	0.9	93.8	△ 10.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○海外債券市況

・先進国

先進国債券市況は、総じて金利が低下（債券価格は上昇）しました。第78期首より、原油価格の下落や中国人民元の切下げおよび新興国経済の減速懸念の高まりを背景に、先進国の金利は低下しました。その後は、中国の追加金融緩和により懸念が一服したことや米国の利上げ観測が高まったことなどを背景に、金利は上昇しました。2015年12月には、米国で利上げが行なわれましたが、E C B（欧州中央銀行）の追加金融緩和期待の高まりなどで金利の上昇幅は限定的でした。2016年1月以降は、世界的な株安や原油価格の下落が進行したことでリスク回避の動きが強まり、金利は大きく低下しました。

・新興国

新興国債券市況は、総じて金利が上昇（債券価格は下落）しました。ブラジルでは、政府の財政再建に注目が集まりましたが、国民へ負担を強いる増税法案や歳出カットに対して議会が難色を示したこと、また大物政治家の逮捕もあり、進ちょくが見られなかったことから、金利は上昇しました。トルコでは、2015年6月の総選挙の結果を受けた与党A K P（公正発展党）と野党の連立交渉が不調に終わり、11月に再選挙が実施され、A K Pが単独での過半数を獲得しました。債券市場では、政治的な不透明感が続いたことや地政学リスクが高まったことから、金利は上昇しました。南アフリカでは、中央銀行はインフレ圧力の高まりや通貨安のリスクを受けて、政策金利を2015年11月に0.25%ポイント、2016年1月に0.50%ポイント引き上げ6.75%としました。債券市場では、2015年12月に行なわれた突然の財務相交代が嫌気され、金利は上昇しました。

○為替相場

・先進国

先進国為替相場は、下落（円高）しました。2015年8月より、原油価格の下落や人民元の切下げおよび新興国経済の減速懸念の高まりを背景に、リスク回避の動きから円高となり、特にカナダ・ドルや豪ドルなど資源国通貨は売られました。その後、9月と10月のF O M C（米国連邦公開市場委員会）では米国の利上げが見送られましたが、方向感に欠ける動きとなりました。10月以降は、堅調な米国の雇用統計を背景に年内の米国の利上げを織り込む展開となり、米ドルが対円で上昇しました。12月以降は、原油価格の下落、米国の利上げ実施、世界的な株安や人民元下落などがリスク回避傾向を強め、円高が進行しました。

・新興国

新興国為替相場は、米国の利上げ観測を受けて新興国からの資金流出への懸念等を背景に下落（円高）しました。ブラジル・レアルは、政府の財政運営の不透明さが嫌気され、対円で軟調な推移となりました。トルコ・リラは、政治的な不透明感が続いたことを背景に、対円で軟調な推移となりました。南アフリカ・ランドは、突然の財務相交代を受けて対円で軟調な推移となりました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

各マザーファンドの組入比率については、各国の債券市場の金利や経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40%程度から60%程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90%程度以上に維持します。

○ダイワ外国債券先進国マザーファンド

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

○ダイワ外国債券新興国マザーファンド

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

当作成期間中のマザーファンドの組入比率については、各国の債券市場の金利や経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40%程度から60%程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90%程度以上に維持しました。

○ダイワ外国債券先進国マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。

通貨配分につきましては、基本通貨配分（豪ドル50%、米ドル25%、カナダ・ドル25%）に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、国債、州債、政府機関債、国際機関債を中心に投資しました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させました。

○ダイワ外国債券新興国マザーファンド

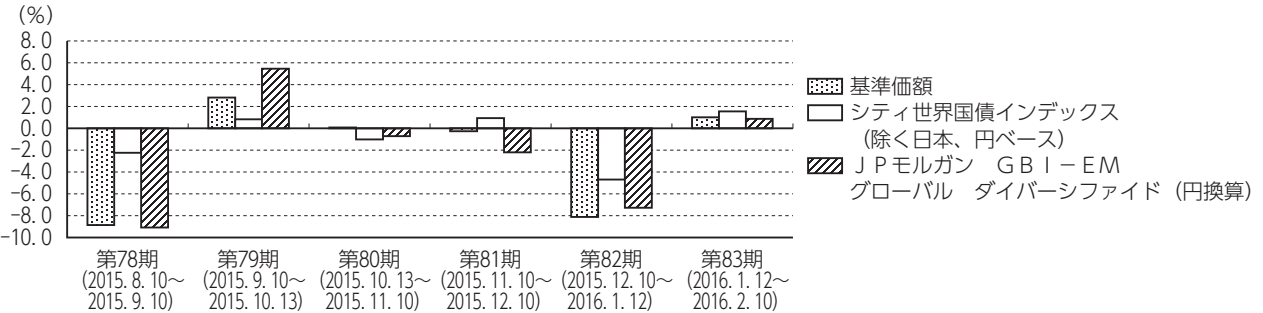
主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

通貨配分につきましては、基本通貨配分（ブラジル・レアル50%、トルコ・リラ25%、南アフリカ・ランド25%）に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、自国通貨建ての国債にて運用を行ないました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズを勘案しつつ、柔軟に変化させました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

第78期から第83期の 1 万口当り分配金（税込み）はそれぞれ50円といたしました。
収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1 万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1 万口当り）

項 目	第78期 2015年 8 月11日 ～2015年 9 月10日	第79期 2015年 9 月11日 ～2015年10月13日	第80期 2015年10月14日 ～2015年11月10日	第81期 2015年11月11日 ～2015年12月10日	第82期 2015年12月11日 ～2016年 1 月12日	第83期 2016年 1 月13日 ～2016年 2 月10日
当期分配金（税込み）（円）	50	50	50	50	50	50
対基準価額比率（％）	0. 75	0. 73	0. 74	0. 74	0. 82	0. 81
当期の収益（円）	26	34	23	25	26	27
当期の収益以外（円）	23	15	26	24	23	22
翌期繰越分配対象額（円）	700	684	657	633	610	587

（注 1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注 2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注 3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
(a) 経費控除後の配当等収益	26.71円	34.25円	23.44円	25.76円	26.54円	27.21円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	42.86	43.62	44.32	45.19	45.93	46.64
(d) 分配準備積立金	680.57	656.55	640.13	612.73	587.78	563.64
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	750.15	734.43	707.90	683.69	660.27	637.50
(f) 分配金	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	700.15	684.43	657.90	633.69	610.27	587.50

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

各マザーファンドの組入比率については、各国の債券市場の金利や経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40%程度から60%程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90%程度以上に維持します。

○ダイワ外国債券先進国マザーファンド

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

○ダイワ外国債券新興国マザーファンド

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第78期～第83期		項 目 の 概 要
	(2015. 8. 11～2016. 2. 10)		
	金 額	比 率	
信託報酬	47円	0. 707%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は6, 646円です。
(投信会社)	(18)	(0. 277)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(27)	(0. 409)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0. 021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	0	0. 003	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数
(先物)	(0)	(0. 003)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	3	0. 042	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(3)	(0. 040)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0. 001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	50	0. 752	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年8月11日から2016年2月10日まで)

決 算 期	第 78 期 ～ 第 83 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ外国債券 先進国 マザーファンド	—	—	3,561,467	5,950,000
ダイワ外国債券 新興国 マザーファンド	671,491	900,000	1,366,070	1,940,000

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第78期～第83期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	第77期末	第 83 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ外国債券先進国 マザーファンド	21,644,293	18,082,826	28,894,548
ダイワ外国債券新興国 マザーファンド	17,243,122	16,548,543	21,448,567

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年9月10日)、(2015年10月13日)、(2015年11月10日)、(2015年12月10日)、(2016年1月12日)、(2016年2月10日)現在

項 目	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末	第82期末	第83期末
(A)資産	58,409,619,616円	59,185,247,424円	58,247,316,142円	57,011,477,357円	51,539,566,661円	50,857,423,982円
コール・ローン等	142,736,197	235,220,232	555,226,713	238,384,051	350,926,272	414,307,771
ダイワ外国債券先進国 マザーファンド（評価額）	33,984,831,951	33,795,345,512	33,231,224,968	32,791,176,112	30,085,895,936	28,894,548,550
ダイワ外国債券新興国 マザーファンド（評価額）	23,282,051,468	24,754,681,680	24,360,864,461	23,581,917,194	20,742,744,453	21,448,567,661
未収入金	1,000,000,000	400,000,000	100,000,000	400,000,000	360,000,000	100,000,000
(B)負債	541,141,749	559,420,125	538,330,802	538,098,453	665,188,274	488,067,590
未払収益分配金	435,075,751	431,912,261	428,012,329	423,109,171	418,209,401	413,332,847
未払解約金	31,786,204	53,825,728	47,235,233	47,636,722	177,308,352	16,426,004
未払信託報酬	74,105,291	73,320,490	62,555,086	66,648,406	68,777,123	57,250,556
その他未払費用	174,503	361,646	528,154	704,154	893,398	1,058,183
(C)純資産総額（A－B）	57,868,477,867	58,625,827,299	57,708,985,340	56,473,378,904	50,874,378,387	50,369,356,392
元本	78,313,635,293	77,744,207,079	77,042,219,246	76,159,650,783	75,277,692,182	74,399,912,467
次期繰越損益金	△20,445,157,426	△19,118,379,780	△19,333,233,906	△19,686,271,879	△24,403,313,795	△24,030,556,075
(D)受益権総口数	87,015,150,325□	86,382,452,310□	85,602,465,829□	84,621,834,203□	83,641,880,202□	82,666,569,408□
1万口当り基準価額（C／D）	6,650円	6,787円	6,742円	6,674円	6,082円	6,093円

* 第77期末における元本額は79,847,611,979円、当作成期間（第78期～第83期）中における追加設定元本額は569,299,689円、同解約元本額は6,016,999,201円です。

* 第83期末の計算口数当りの純資産額は6,093円です。

* 第83期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は24,030,556,075円です。

■投資信託財産の構成

2016年2月10日現在

項 目	第 83 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	28,894,548	56.8
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	21,448,567	42.2
コール・ローン等、その他	514,307	1.0
投資信託財産総額	50,857,423	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝114.73円、1カナダ・ドル＝82.53円、1オーストラリア・ドル＝81.02円、1トルコ・リラ＝39.05円、1ブラジル・レアル＝29.37円、1南アフリカ・ランド＝7.16円です。

(注3) ダイワ外国債券先進国マザーファンドにおいて、第83期末における外貨建純資産（28,882,122千円）の投資信託財産総額（29,293,484千円）に対する比率は、98.6%です。
ダイワ外国債券新興国マザーファンドにおいて、第83期末における外貨建純資産（19,780,934千円）の投資信託財産総額（21,533,106千円）に対する比率は、91.9%です。

ダイワ外国債券ファンド（毎月分配型）－ダイワスピリット－

■損益の状況

第78期 自 2015年 8 月11日 至 2015年 9 月10日		第80期 自 2015年10月14日 至 2015年11月10日		第82期 自 2015年12月11日 至 2016年 1 月12日		
第79期 自 2015年 9 月11日 至 2015年10月13日		第81期 自 2015年11月11日 至 2015年12月10日		第83期 自 2016年 1 月13日 至 2016年 2 月10日		
項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
(A) 配当等収益	5,739円	6,845円	5,538円	6,917円	9,071円	5,979円
受取利息	5,739	6,845	5,538	6,917	9,071	5,979
(B) 有価証券売買損益	△ 5,584,492,189	1,683,556,189	103,294,610	△ 84,771,346	△ 4,457,572,703	558,576,717
売買益	62,565,508	1,686,584,132	323,209,336	291,605,238	26,353,954	770,106,282
売買損	△ 5,647,057,697	△ 3,027,943	△ 219,914,726	△ 376,376,584	△ 4,483,926,657	△ 211,529,565
(C) 信託報酬等	△ 74,279,794	△ 73,507,633	△ 62,721,594	△ 66,824,406	△ 68,966,367	△ 57,415,341
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 5,658,766,244	1,610,055,401	40,578,554	△ 151,588,835	△ 4,526,529,999	501,167,355
(E) 前期繰越損益金	△ 10,576,916,523	△ 16,530,935,616	△ 15,198,052,545	△ 15,385,788,780	△ 15,756,509,775	△ 20,434,879,227
(F) 追加信託差損益金	△ 3,774,398,908	△ 3,765,587,304	△ 3,747,747,586	△ 3,725,785,093	△ 3,702,064,620	△ 3,683,511,356
(配当等相当額)	(373,005,377)	(376,876,298)	(379,449,479)	(382,453,776)	(384,221,147)	(385,610,074)
(売買損益相当額)	(△ 4,147,404,285)	(△ 4,142,463,602)	(△ 4,127,197,065)	(△ 4,108,238,869)	(△ 4,086,285,767)	(△ 4,069,121,430)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 20,010,081,675	△ 18,686,467,519	△ 18,905,221,577	△ 19,263,162,708	△ 23,985,104,394	△ 23,617,223,228
(H) 収益分配金	△ 435,075,751	△ 431,912,261	△ 428,012,329	△ 423,109,171	△ 418,209,401	△ 413,332,847
次期繰越損益金 (G + H)	△ 20,445,157,426	△ 19,118,379,780	△ 19,333,233,906	△ 19,686,271,879	△ 24,403,313,795	△ 24,030,556,075
追加信託差損益金	△ 3,774,398,908	△ 3,765,587,304	△ 3,747,747,586	△ 3,725,785,093	△ 3,702,064,620	△ 3,683,511,356
(配当等相当額)	(373,005,377)	(376,876,298)	(379,449,479)	(382,453,776)	(384,221,147)	(385,610,074)
(売買損益相当額)	(△ 4,147,404,285)	(△ 4,142,463,602)	(△ 4,127,197,065)	(△ 4,108,238,869)	(△ 4,086,285,767)	(△ 4,069,121,430)
分配準備積立金	5,719,413,458	5,535,472,953	5,252,358,750	4,979,988,757	4,720,192,248	4,471,094,015
繰越損益金	△ 22,390,171,976	△ 20,888,265,429	△ 20,837,845,070	△ 20,940,475,543	△ 25,421,441,423	△ 24,818,138,734

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
(a) 経費控除後の配当等収益	232,469,432円	295,942,276円	200,689,844円	218,037,889円	222,057,771円	224,970,921円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	373,005,377	376,876,298	379,449,479	382,453,776	384,221,147	385,610,074
(d) 分配準備積立金	5,922,019,777	5,671,442,938	5,479,681,235	5,185,060,039	4,916,343,878	4,659,455,941
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	6,527,494,586	6,344,261,512	6,059,820,558	5,785,551,704	5,522,622,796	5,270,036,936
(f) 分配金	435,075,751	431,912,261	428,012,329	423,109,171	418,209,401	413,332,847
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	6,092,418,835	5,912,349,251	5,631,808,229	5,362,442,533	5,104,413,395	4,856,704,089
(h) 受益権総口数	87,015,150,325口	86,382,452,310口	85,602,465,829口	84,621,834,203口	83,641,880,202口	82,666,569,408口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
	50円	50円	50円	50円	50円	50円
（単 価）	(6, 650円)	(6, 787円)	(6, 742円)	(6, 674円)	(6, 082円)	(6, 093円)

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ外国債券先進国マザーファンド

運用報告書 第14期（決算日 2016年2月10日）

（計算期間 2015年8月11日～2016年2月10日）

ダイワ外国債券先進国マザーファンドの第14期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	海外の債券
運 用 方 法	①主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。 ②各国の債券および為替市場の流動性、信用力、市場規模、金利水準等を勘案し、長期的な視点で先進国通貨の中から3通貨を選定し、基準となる通貨の配分（以下「基本通貨配分」といいます。）を定めます。実際の運用にあたっては、基本通貨配分に基づき、金利動向等の状況を考慮して通貨を配分します。 ※投資環境等が著しく変化した場合には、投資対象通貨、通貨数および基本通貨配分を変更する場合があります。 ③投資対象は、各国の国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関およびそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証する債券とします。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

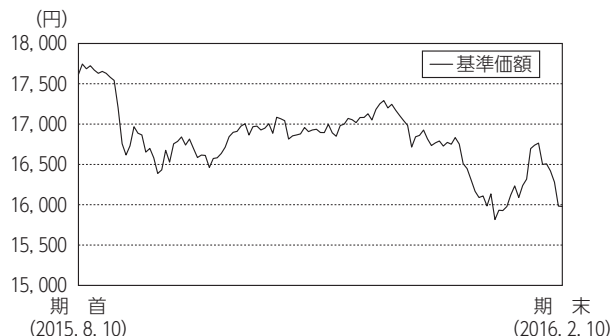
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額		シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)		公 社 債 債 券 組入比率 先物比率	
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率
(期首) 2015年 8月10日	円 17,615	% —	15,927	% —	% 97.8	% △ 7.8
8月末	16,887	△ 4.1	15,593	△ 2.1	97.2	—
9月末	16,573	△ 5.9	15,549	△ 2.4	97.3	—
10月末	16,866	△ 4.3	15,597	△ 2.1	97.6	△ 6.7
11月末	17,051	△ 3.2	15,590	△ 2.1	96.7	△ 7.7
12月末	16,833	△ 4.4	15,330	△ 3.7	97.0	△ 14.5
2016年 1月末	16,696	△ 5.2	15,329	△ 3.8	98.0	△ 23.9
(期末) 2016年 2月10日	15,979	△ 9.3	15,179	△ 4.7	97.2	△ 17.4

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) の原データに基づき、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注5) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：17,615円 期末：15,979円 騰落率：△9.3%

【基準価額の主な変動要因】

投資対象通貨の対円での値下がり (円高) による為替要因によって、基準価額は下落しました。一方、投資対象国の債券価格の上昇や債券の利息収入は、基準価額の下落を抑える要因となりました。

◆投資環境について

○先進国債券市況

先進国債券市況は、金利が低下しました。

期首より、原油価格の下落や中国人民元の切下げおよび新興国経済の減速懸念の高まりを背景に、先進国の金利は低下しました。そ

の後は、中国の追加金融緩和により懸念が一服したことや米国の利上げ観測が高まったことなどを背景に、金利は上昇しました。2015年12月には、米国で利上げが行なわれましたが、ECB (欧州中央銀行) の追加金融緩和期待の高まりなどで金利の上昇幅は限定的でした。2016年1月以降は、世界的な株安や原油価格の下落が進行したことでリスク回避の動きが強まり、金利は大きく低下しました。

○為替相場

為替相場は、下落 (円高) しました。

期首より、原油価格の下落や人民元の切下げおよび新興国経済の減速懸念の高まりを背景に、リスク回避の動きから円高となり、特にカナダ・ドルや豪ドルなど資源国通貨は売られました。その後、2015年9月と10月のFOMC (米国連邦公開市場委員会) では米国の利上げが見送られましたが、方向感に欠ける動きとなりました。10月以降は、堅調な米国の雇用統計を背景に年内の米国の利上げを織り込む展開となり、米ドルが対円で上昇しました。12月以降は、原油価格の下落、米国の利上げ実施、世界的な株安や人民元下落などがリスク回避傾向を強め、円高が進行しました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。

通貨配分につきましては、基本通貨配分 (豪ドル50%、米ドル25%、カナダ・ドル25%) に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、国債、州債、政府機関債、国際機関債を中心に投資しました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

ダイワ外国債券先進国マザーファンド

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (先物)	1円 (1)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	3 (3)
合 計	3

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出方法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注 2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2015年 8月11日から2016年 2月10日まで)

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	国債証券	千アメリカ・ドル 12, 505	千アメリカ・ドル 30, 218 (—)
	カナダ	国債証券	千カナダ・ドル 41, 827	千カナダ・ドル 35, 691 (—)
		地方債証券	12, 385	29, 533 (—)
国	オーストラリア	国債証券	千オーストラリア・ドル 32, 326	千オーストラリア・ドル 57, 130 (—)
		特殊債券	18, 926	24, 642 (—)

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注 2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の種類別取引状況

(2015年 8月11日から2016年 2月10日まで)

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国	債券先物取引	百万円 —	百万円 —	百万円 32, 270	百万円 29, 887

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2015年 8月11日から2016年 2月10日まで)

当 期		買 付		売 付	
銘 柄		金 額	銘 柄	金 額	銘 柄
		千円			千円
CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 2. 25% 2025/6/1		1, 926, 334	CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 2. 25% 2025/6/1		1, 898, 976
AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 3. 25% 2025/4/21		1, 696, 452	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 3. 25% 2025/4/21		1, 445, 891
TREASURY CORP VICTORIA (オーストラリア) 6% 2020/6/15		1, 206, 770	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 5. 75% 2021/5/15		1, 401, 329
CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 3. 25% 2021/6/1		1, 200, 974	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 5. 25% 2019/3/15		1, 309, 034
AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 5. 75% 2021/5/15		827, 598	QUEENSLAND TREASURY CORP. (オーストラリア) 6% 2021/6/14		1, 231, 561
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1. 5% 2019/2/28		611, 367	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2% 2021/2/28		1, 223, 661
CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 2. 75% 2022/6/1		609, 738	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1. 5% 2019/2/28		1, 199, 794
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2% 2025/2/15		597, 476	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2% 2025/2/15		1, 192, 802
Province of Quebec Canada (カナダ) 4. 25% 2021/12/1		592, 953	CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 3. 25% 2021/6/1		973, 338
ONTARIO PROVINCE (カナダ) 4% 2021/6/2		486, 773	Province of Quebec Canada (カナダ) 9. 375% 2023/1/16		684, 981

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注 2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期	当 期					未		
区 分	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちＢＢ格 以下組入 比	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年末満
アメリカ	千アメリカ・ドル 56,000	千アメリカ・ドル 58,434	千円 6,704,211	% 23.2	% —	% 19.5	% 2.4	% 1.2
カナダ	千カナダ・ドル 76,000	千カナダ・ドル 85,837	7,084,165	24.5	—	22.1	2.4	—
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 157,600	千オーストラリア・ドル 176,695	14,315,890	49.5	—	32.5	15.1	1.9
合計	—	—	28,104,267	97.2	—	74.1	19.9	3.2

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

		当		期		未		
区 分		銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
						外 貨 建 金 額	邦貨換算金額	
アメリカ		United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.7500	千アメリカ・ドル 5,000	千アメリカ・ドル 5,438	千円 623,930	2024/02/15
		United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.5000	6,000	6,112	701,335	2019/02/28
		United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	18,000	18,684	2,143,697	2021/02/28
		United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	8,000	8,200	940,786	2025/02/15
		Mexico Government International Bond	国債証券	5.6250	2,500	2,590	297,150	2017/01/15
		Mexico Government International Bond	国債証券	3.6000	5,000	4,831	554,289	2025/01/30
		BELGIUM GOVERNMENT BOND	国債証券	2.8750	10,000	10,630	1,219,671	2024/09/18
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	9.2500	500	558	64,112	2017/07/15
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	7.6250	1,000	1,387	159,237	2023/01/19	
通貨小計	銘柄数 金額	9銘柄			56,000	58,434	6,704,211	
カナダ		CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	3.2500	千カナダ・ドル 15,000	千カナダ・ドル 17,124	千円 1,413,256	2021/06/01
		CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	2.7500	6,000	6,761	557,993	2022/06/01
		CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	1.7500	8,000	8,341	688,386	2019/03/01
		CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	2.2500	10,000	11,061	912,905	2025/06/01
		Province of Quebec Canada	地方債証券	9.3750	4,000	5,972	492,915	2023/01/16
		Province of Quebec Canada	地方債証券	4.2500	5,000	5,769	476,177	2021/12/01
		ONTARIO PROVINCE	地方債証券	3.5000	5,000	5,569	459,663	2024/06/02
		ONTARIO PROVINCE	地方債証券	4.0000	10,000	11,343	936,170	2021/06/02
		BRITISH COLUMBIA	地方債証券	2.8500	3,000	3,203	264,344	2025/06/18
	CANADA HOUSING TRUST	特殊債券	2.4000	10,000	10,691	882,352	2022/12/15	
通貨小計	銘柄数 金額	10銘柄			76,000	85,837	7,084,165	

ダイワ外国債券先進国マザーファンド

区 分		当 期			末		
		銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額	
						外 貨 建 金 額	邦貨換算金額
オーストラリア		AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	5.7500	12,000	14,261	1,155,497
		AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	2.7500	17,000	17,578	1,424,238
		AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	3.2500	19,000	20,396	1,652,555
		LANDWIRTSCHAFT RENTENBANK	特殊債券	4.2500	10,000	10,844	878,653
		KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU	特殊債券	6.2500	7,000	7,545	611,320
		KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU	特殊債券	2.7500	5,000	5,051	409,280
		KOMMUNALBANKEN	特殊債券	3.5000	5,000	5,121	414,927
		WESTERN AUSTRALIAN TREASURY CORP.	特殊債券	7.0000	10,000	12,287	995,508
		NEW SOUTH WALES TREASURY CORP.	特殊債券	5.0000	10,000	11,906	964,672
		TREASURY CORP VICTORIA	特殊債券	6.0000	12,000	13,951	1,130,345
		QUEENSLAND TREASURY CORP.	特殊債券	5.7500	19,000	23,194	1,879,213
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	6.0000	6,000	6,222	504,184
		INTL. FIN. CORP.	特殊債券	5.7500	5,000	5,690	461,060
		EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	6.5000	10,000	11,353	919,852
		EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	2.8000	5,000	5,043	408,604
		ASIAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	5.5000	600	600	48,636
		ASIAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	5.0000	5,000	5,644	457,337
通貨小計	銘柄数	17銘柄					
	金額				157,600	176,695	14,315,890
合計	銘柄数	36銘柄					
	金額						28,104,267

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
 (注 2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(3)先物取引の銘柄別期末残高（評価額）

銘 柄 別		当 期 末	
		買 建 額	売 建 額
外 国	T-NOTE (10YR) (アメリカ)	百万円 —	百万円 1,506
	T-NOTE (5YR) (アメリカ)	—	1,394
	A-BOND (10YR) (オーストラリア)	—	2,135

(注 1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
 (注 2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年 2月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 28,104,267	% 95.9
コール・ローン等、その他	1,189,217	4.1
投資信託財産総額	29,293,484	100.0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
 (注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝114.73円、1カナダ・ドル＝82.53円、1オーストラリア・ドル＝81.02円です。
 (注 3) 当期末における外貨建純資産 (28,882,122千円) の投資信託財産総額 (29,293,484千円) に対する比率は、98.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年2月10日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	39,794,579,730円
コール・ローン等	560,294,428
公社債（評価額）	28,104,267,135
未収入金	10,615,019,104
未収利息	226,639,133
前払費用	9,503,063
差入委託証拠金	278,856,867
(B)負債	10,867,293,932
未払金	10,767,293,932
未払解約金	100,000,000
(C)純資産総額（A－B）	28,927,285,798
元本	18,103,347,462
次期繰越損益金	10,823,938,336
(D)受益権総口数	18,103,347,462口
1万口当り基準価額（C／D）	15,979円

*期首における元本額は21,659,023,541円、当期中における追加設定元本額は6,902,045円、同解約元本額は3,562,578,124円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ外国債券ファンド（毎月分配型）ーダイワスピリットー18,082,826,554円、ダイワ外国債券ファンド（年1回決算型）ーダイワスピリット（年1回）ー20,520,908円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は15,979円です。

■損益の状況

当期 自2015年8月11日 至2016年2月10日

項 目	当 期
(A)配当等収益	560,116,270円
受取利息	559,828,627
その他収益金	287,643
(B)有価証券売買損益	△ 3,687,709,296
売買益	589,075,164
売買損	△ 4,276,784,460
(C)先物取引等損益	△ 150,787,194
取引益	67,608,758
取引損	△ 218,395,952
(D)その他費用	△ 5,090,768
(E)当期損益金（A＋B＋C＋D）	△ 3,283,470,988
(F)前期繰越損益金	16,492,508,245
(G)解約差損益金	△ 2,389,291,876
(H)追加信託差損益金	4,192,955
(I)合計（E＋F＋G＋H）	10,823,938,336
次期繰越損益金（I）	10,823,938,336

（注1）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

ダイワ外国債券新興国マザーファンド

運用報告書 第14期 (決算日 2016年2月10日)

(計算期間 2015年8月11日～2016年2月10日)

ダイワ外国債券新興国マザーファンドの第14期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	海外の債券
運用方法	①主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②各国の債券および為替市場の流動性、信用力、市場規模、金利水準等を勘案し、長期的な視点で新興国通貨の中から3通貨を選定し、基準となる通貨の配分（以下「基本通貨配分」といいます。）を定めます。実際の運用にあたっては、基本通貨配分に基づき、金利動向等の状況を考慮して通貨を配分します。 ※投資環境等が著しく変化した場合には、投資対象通貨、通貨数および基本通貨配分を変更する場合があります。 ③投資対象は、各国の国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関およびそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証する債券とします。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

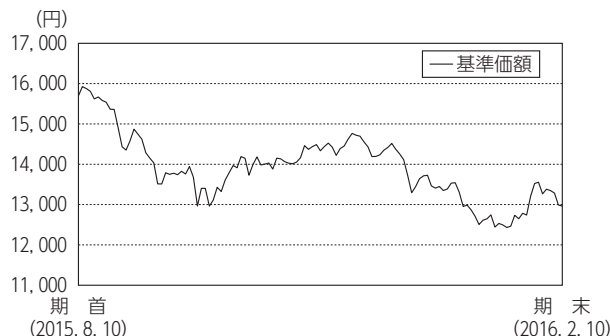
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン G B I - E M グロ-バル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率
	円	騰落率 (参考指数)	円	騰落率 (参考指数)		
(期首) 2015年 8月10日	15,697	—	18,040	—	89.0	—
8月末	14,746	△ 6.1	17,000	△ 5.8	89.6	—
9月末	13,114	△ 16.5	16,080	△ 10.9	83.4	—
10月末	14,053	△ 10.5	17,016	△ 5.7	85.0	—
11月末	14,191	△ 9.6	17,135	△ 5.0	88.7	—
12月末	13,541	△ 13.7	16,489	△ 8.6	89.0	—
2016年 1月末	13,211	△ 15.8	16,236	△ 10.0	89.2	—
(期末) 2016年 2月10日	12,961	△ 17.4	15,706	△ 12.9	89.4	—

(注 1) 騰落率は期首比。

(注 2) J Pモルガン G B I - E Mグロ-バル ダイバーシファイド (円換算) は、J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グロ-バル ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グロ-バル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注 5) 債券先物比率は買建比率 - 売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：15,697円 期末：12,961円 騰落率：△17.4%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入はプラスに寄与しましたが、債券価格や投資している通貨の対円レートが下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

◆投資環境について

○新興国債券市況

新興国債券市況は、各国の個別要因に加えて、米国の金融政策の正常化への思惑等を受けて、総じて金利が上昇 (債券価格は下落) する展開となりました。

・ブラジル

ブラジルでは、中央銀行はインフレへの警戒から金融引き締め策を採り続け、政策金利を14.25%と高水準で維持しました。引き続き、政府の財政再建に注目が集まりましたが、国民へ負担を強いる増税法案や歳出カットに対して議会が難色を示したことが、また大物政治家の逮捕もあり、進ちょくが見られなかったことから懸念が高まり、金利は上昇しました。

・トルコ

トルコでは、2015年6月の総選挙の結果を受けた与党A K P (公正発展党) と野党の連立交渉が不調に終わり、11月に再選挙が実施されました。再選挙では、A K Pが単独での過半数を獲得する結果となりました。債券市場では、政治的な不透明感が続いたことや地政学リスクが高まったことが嫌気され、金利は上昇しました。

・南アフリカ

南アフリカでは、中央銀行はインフレ圧力の高まりや通貨安のリスクを受けて、政策金利 (レポ金利) を2015年11月に0.25%ポイント、2016年1月に0.50%ポイント引き上げ6.75%としました。2015年12月には、ズマ大統領がネネ財務大臣の解任を発表し、後任にはファンルーエン氏が指名されましたが、財政懸念の高まりから金融市場が混乱したこともあり、その後、以前財務相を務めていたゴードン氏を新たに財務相として任命しました。債券市場では、突然の財務相交代が嫌気され、金利は上昇しました。

○為替相場

新興国為替相場は、米国の利上げ観測を受けて新興国からの資金流出への懸念等を背景に、各通貨ともに下落しました。

ブラジル・レアルは、政府の財政運営の不透明さが嫌気され、対円で軟調な推移となりました。

トルコ・リラは、政治的な不透明感が続いたことを背景に、対円で軟調な推移となりました。

南アフリカ・ランドは、突然の財務相交代を受けて対円で軟調な推移となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

ダイワ外国債券新興国マザーファンド

◆ポートフォリオについて

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

通貨配分につきましては、基本通貨配分（ブラジル・レアル50%、トルコ・リラ25%、南アフリカ・ランド25%）に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、自国通貨建ての国債にて運用を行ないました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズを勘案しつつ、柔軟に変化させました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■主要な売買銘柄

公 社 債

当		期	
買		付	
銘	柄	銘	柄
金 額		金 額	
千円		千円	
Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F (ブラジル) 10% 2025/1/1	902,754	Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル) 2016/1/1	1,415,479
Turkey Government Bond (トルコ) 8% 2025/3/12	584,851	Turkey Government Bond (トルコ) 10.4% 2024/3/20	579,820
Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F (ブラジル) 10% 2023/1/1	471,762	Turkey Government Bond (トルコ) 9% 2024/7/24	349,219
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8.5% 2037/1/31	408,041		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■1万口当りの費用の明細

項	目	当	期
売買委託手数料		—円	
有価証券取引税		—	
その他費用		11	
(保管費用)		(11)	
合	計	11	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出方法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2015年8月11日から2016年2月10日まで)

			買 付 額	売 付 額
外	トルコ	国債証券	千トルコ・リラ 13,935	千トルコ・リラ 23,520
			(—)	(—)
国	ブラジル	国債証券	千ブラジル・レアル 46,546	千ブラジル・レアル 47,933
			(—)	(—)
国	南アフリカ	国債証券	千南アフリカ・ランド 47,446	千南アフリカ・ランド —
			(—)	(—)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額 面 金 額	当 期			末			
		評 価 額		組入比率	うちＢＢ格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年末満
トルコ	千トルコ・リラ 115,000	千トルコ・リラ 104,430	千円 4,077,991	% 19.0	% —	% 17.3	% 1.7	% —
ブラジル	千ブラジル・レアル 450,000	千ブラジル・レアル 373,973	10,983,598	51.2	—	8.2	12.0	31.0
南アフリカ	千南アフリカ・ランド 650,000	千南アフリカ・ランド 576,475	4,127,564	19.2	—	16.1	3.2	—
合計	—	—	19,189,154	89.4	—	41.5	16.9	31.0

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分		当 期				末		
		銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
						外 貨 建 金 額	邦貨換算金額	
トルコ		Turkey Government Bond	国債証券	7.1000	千トルコ・リラ 10,000	千トルコ・リラ 8,300	千円 324,115	2023/03/08
		Turkey Government Bond	国債証券	8.3000	10,000	9,550	372,927	2018/06/20
		Turkey Government Bond	国債証券	8.8000	20,000	18,180	709,929	2023/09/27
		Turkey Government Bond	国債証券	10.4000	30,000	29,835	1,165,056	2024/03/20
		Turkey Government Bond	国債証券	8.0000	45,000	38,565	1,505,963	2025/03/12
通貨小計	銘柄数	5銘柄						
	金額				115,000	104,430	4,077,991	
ブラジル		Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	国債証券	10.0000	千ブラジル・レアル 30,000	千ブラジル・レアル 28,968	千円 850,798	2017/01/01
		Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	国債証券	10.0000	20,000	16,412	482,038	2021/01/01
		Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	国債証券	10.0000	40,000	36,993	1,086,502	2018/01/01
		Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	国債証券	10.0000	30,000	23,162	680,279	2023/01/01
		Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—	50,000	47,449	1,393,577	2016/07/01
		Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—	50,000	44,310	1,301,384	2017/01/01
		Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	国債証券	10.0000	50,000	36,741	1,079,083	2025/01/01
		Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—	30,000	23,016	675,979	2018/01/01
		Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—	100,000	71,105	2,088,353	2018/07/01
		Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—	50,000	45,815	1,345,601	2016/10/01
通貨小計	銘柄数	10銘柄						
	金額				450,000	373,973	10,983,598	
南アフリカ		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	7.2500	千南アフリカ・ランド 100,000	千南アフリカ・ランド 95,055	千円 680,593	2020/01/15
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	10.5000	100,000	108,108	774,053	2026/12/21
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	6.2500	50,000	34,375	246,128	2036/03/31
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	6.7500	100,000	91,149	652,626	2021/03/31
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	6.5000	50,000	34,167	244,639	2041/02/28
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	7.0000	50,000	39,319	281,527	2031/02/28
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.7500	50,000	43,673	312,698	2048/02/28

ダイワ外国債券新興国マザーファンド

区 分		当 期			末		
		銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額	
						外 貨 建 金 額	邦貨換算金額
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.5000%	千南アフリカ・ランド 50,000	千南アフリカ・ランド 43,512	千円 311,545
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.0000	100,000	87,116	623,750
通貨小計	銘柄数	9銘柄					
	金額				650,000	576,475	4,127,564
合計	銘柄数	24銘柄					
	金額						19,189,154

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年2月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	19,189,154	89.1
コール・ローン等、その他	2,343,951	10.9
投資信託財産総額	21,533,106	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月10日における邦貨換算レートは、1トルコ・リラ=39.05円、1ブラジル・レアル=29.37円、1南アフリカ・ランド=7.16円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産(19,780,934千円)の投資信託財産総額(21,533,106千円)に対する比率は、91.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年2月10日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	23,021,706,355円
コール・ローン等	2,073,720,425
公社債(評価額)	19,189,154,838
未収入金	1,488,600,000
未収利息	264,695,433
前払費用	5,535,659
(B)負債	1,548,550,000
未払金	1,548,550,000
(C)純資産総額(A-B)	21,473,156,355
元本	16,567,313,332
次期繰越損益金	4,905,843,023
(D)受益権総口数	16,567,313,332口
1万口当り基準価額(C/D)	12,961円

*期首における元本額は17,254,894,686円、当期中における追加設定元本額は678,918,626円、同解約元本額は1,366,499,980円です。
*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ外国債券ファンド(毎月分配型)ーダイワスピリットー16,548,543,833円、ダイワ外国債券ファンド(年1回決算型)ーダイワスピリット(年1回)ー18,769,499円です。
*当期末の計算口数当りの純資産額は12,961円です。

■損益の状況

当期 自2015年8月11日 至2016年2月10日

項 目	当 期
(A)配当等収益	1,052,155,699円
受取利息	1,052,155,699
(B)有価証券売買損益	△ 5,614,439,910
売買益	242,639,167
売買損	△ 5,857,079,077
(C)その他費用	△ 18,036,427
(D)当期損益金(A+B+C)	△ 4,580,320,638
(E)前期繰越損益金	9,829,813,307
(F)解約差損益金	△ 574,115,020
(G)追加信託差損益金	230,465,374
(H)合計(D+E+F+G)	4,905,843,023
次期繰越損益金(H)	4,905,843,023

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。